

# 平成31年度 事業計画書

社会福祉法人 正廉会



# 平成 31 年度 社会福祉法人正廉会 事業計画

## 法人の基本理念

和み  
創意工夫  
個人の尊厳  
ありがとうの心

- 個人の尊厳を守り、和みのある温かな施設運営をします。  
入居者・利用者の人としての尊厳を保つと共に、健康で和やかな生活を支援することにより、入居者・利用者本位の良質な高齢者介護サービスを提供します。
- 入居者・利用者が生活の場として快適に過ごせるよう、全職員が創意工夫します。  
入居者・利用者が生活の場として快適に過ごせるよう、入居者・利用者の心身状態等の特性に合わせた質の高い介護、支援サービスの提供を心掛け、入居者・利用者が和やかな気分を感じることができるよう創意工夫します。
- いつでも・どこでも・だれにでも「ありがとうの心」で、笑顔を絶やさないようにします。  
明るい家庭的な雰囲気を大切にして、常にだれに対しても挨拶と笑顔とありがとうの言葉があふれている「安全、安心、思いやり、温かみ」のある施設とします。
- ◎ 平成 31 年度も 30 年度に引続き「和み」への取組を強化した事業運営を行います。  
和むことにより笑顔があふれ、入居者・利用者どうし、入居者・利用者と職員、職員間のコミュニケーションが良好で、人と人とのふれ合いが豊かな、穏やかで優しい施設とします。

## 法人の事業方針

経営改善計画書に掲げた経営計画並びに（株）川原経営総合センターによる経営分析報告書で指摘された経営課題の改善に向けて、「施設並びに事業所の稼働率のアップ」「人件費の削減」「諸経費の削減」の実現を果たすための事業運営に全力で取組み、事業面、財務面での再構築による経営再建を図っていく所存です。

## 重点施策 = 経営改善計画書に則った事業運営の遵守

### 1. 事業所の稼働率のアップ

事業所		30年度稼働率見込	31年度稼働率目標
特 養	海山荘	97.8%	98%
	すいせんの郷	97.9%	98%
ショートステイ		85.1%	85%
デイサービス	一般型	58.9%	31年4月：73% ⇒ 31年8月：83%
	認知症型	66.5%	83%
	総合事業	75.4%	83%

#### 【 特 養 】

##### (1) 空室期間を短縮する。

###### ① 入所待機者との情報交換、連絡を密に行う。

退所から新規入所までの期間をできる限り短縮するため、待機期間中には施設から待機者に定期的に施設の受入れ体制や待機者の生活状況等の情報交換を行って、待機者がスムーズに入居できる状況を作り出す工夫改善を施して空室期間の短縮を図る。

###### ② 病院等への入院期間を短くする。

病院等へ入院した入居者が出来るだけ早く退院して戻れるよう、介護職員、看護職員が協力して施設の受入れ体制を整える。

###### ③ 病院等へ入院した入居者の状態が、医療行為等が必要なため施設での生活が難しいと判断した場合、入院後3か月を待たずに退所していただく理解への対応を早めに行う。

###### ④ 全ての職種の職員が協調して、施設で最後まで生活していただける体制づくりを行う。

##### (2) 入所判定会の開催期間を短縮し、開催頻度を増やす。

現状、3か月に1回(第1水曜日)定期的に開催している入所判定会を2か月に1回とし、且つ、その間に適宜、臨時の判定会を開催して、要介護度の高い入所者の確保と囲い込みを図り、入所希望待機者を増やし、滞ることなく入所できる体制を整えていく。

#### 【 ショートステイ 】

##### ① 居宅介護支援事業者(ケアマネージャー)との情報交換を密にして、新規利用者の紹介増に向けての営業活動をこま目に行っていくことや、“また海山荘のショートステイを利用したい”というリピーター、定期利用者の増加を促進するサービスの提供を工夫する。

##### ② ショートステイを閉鎖していたり、利用を制限している近隣の特養が数施設あるので、海山荘のショート利用者の増加を図るチャンスだと捉えて、居宅介護支援事業者への働きかけを強化していく。

## 【 デイサービス 】

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）を含め、利用定員 50 名（一般型 30 名、認知症型 12 名、総合事業 8 名）のデイサービスの利用率は 83%以上（1 日当りの利用者数を 41 名以上）を目標とし、経営改善に向けての事業運営を強化する。
- ② デイサービスの PR 情報をホームページ等で発信すると同時に、地域交流イベントに積極的に参加していく。
- ③ おやつ作りなどのリクレーションや職員の演芸などをはじめ、利用者が心身ともに楽しく過ごせるよう工夫して、利用者が毎日のように利用したいと思えるデイサービスを目指す。
- ④ 新たな機能訓練ツールを導入し、利用者が機能訓練を実施したデータを毎月利用者及びその家族に提供することで、同業他所と差別化した特徴のあるサービスを行うことにより、利用者の確保・増加を図っていく。

## 2. 人件費の削減

### ① 人件費率の目標値

31 年度…68%以下 ⇒ 32 年度…66%以下 ⇒ 33 年度…64%以下

34 年度にはユニット型特養の平均値である 62%が実現出来るよう経営改善を図っていく。

### ② 介護職員を適正に、且つ効果的、効率的に配置して、常勤換算で 2 対 1 の配置を遵守する。

介護職員の確保が厳しい現状ではあるが、正職員を増やすことと、パート職員の配置並びに勤務体制を見直して、施設が必要とする時間帯に必要な人材を投入するという効率化を図り、人件費の削減を図っていく。

## 3. 諸経費の削減

業務委託費をはじめ事業費、事務費の支払先との契約金額、購入金額の引下げに関しては、30 年度に有る程度実施されたが、未実業者とは引続き交渉を重ねて、引下げを実現していく。

また、海山荘の建物及び設備等は平成 17 年の開設から 14 年が経過し、補修・更新の時期が既に到来している。補修・買換費用が膨大になると見込まれるものの、それらに対応する資金は限られているため、入居者・利用者へのサービス並びに施設運営に支障が生じないよう優先順位を決めて補修・更新を行っていく。

別紙に主な事業費、事務費の支払予定を提示する。

## 4. 加算の取得により収入増を図る。

別紙：「31 年度取得予定の加算項目」により、取得できる加算項目は残らず積極的に取得していく。

# 事業所別 事業計画書

## 介護老人福祉施設

### 特別養護老人ホーム海山荘・地域密着型特別養護老人ホームすいせんの郷

#### 1. 重点目標

(1) 法人の基本理念の中の「和み」への取組を主とした施設運営を行う。

- 入居者、家族をはじめ、施設に係る皆様に対して、気遣い・心遣いを忘れず、いつも笑顔で和みがあり親しみのある対応をする。
- 入居者の立場に立った良質な介護サービスの提供を心がけ、「安全、安心、思いやり、温かみ」のある施設を目指し、入居者・家族・地域から信頼される施設とする。
- 新しい知識の習得や技術の向上ができるよう、研修・勉強会等、知識取得の機会を増やし、ケアの質の向上に繋げていく。認知症ケアの知識を深める企画等は継続して行う。
- ユニットケアを推進し、入居者が海山荘並びにすいせんの郷において「自分らしい生活」が実現できるよう、入居者一人ひとりの人権と生活を尊重し、入居者の心身状態等の特性に合わせた介護、支援を提供して、入居者が満足を感じることができる施設とする。
- ケアプラン（施設サービス計画）に基づいた介護サービスを提供し、入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護、援助、相談、機能訓練、健康管理を行う。
- 職員間の「ホウレンソウ」（報告・連絡・相談）を徹底し、各職種の連携を深めて協力し合える関係の維持に努めて、チームケアを確立する。
- 継続的にボランティアや介護等体験学生を受け入れ、地域支え合い活動等への協力を進め、施設の情報等を発信することで開かれた施設を目指し、地域住民との交流の促進を図る。

(2) 接遇マナーの向上に努める。

明るい家庭的な雰囲気大切に、入居者・家族・地域に好感を与える表情や言葉づかいや態度、清潔感のある身だしなみ、施設・ユニット・居室内の整理・整頓等により、和みのある、安心・安全・快適な施設運営を行う。

(3) 人材の確保

入居者・利用者に安心、安全を与え、思いやりを持った温かみのある介護サービスを提供していくのは介護職員であり、海山荘並びにすいせんの郷が入居者・利用者、家族及び地域から介護福祉施設としての信頼を得ていくためにも、入居者・利用者に快適な介護サービスを提供できる能力、資質を持った介護職員の確保に継続して取り組んでいく。

(4) 居室の空室期間を短くする。（稼働率のアップ）

介護報酬を少しでも多く確保する方策として、できる限り空室を作らないようにする。そのためは、入居希望待機者との連絡を密に行って、退居者が出たならば日を空けずに入居待機者ができるだけ速やかに入居していただくことや、入居者の日々の健康管理をきめ細かく行うことにより医療機関への入院を回避できるように看護体制を強化していく等、空室期間を短くし稼働率をアップすることにより事業収入の確保に努める。

## ショートステイ（短期入所生活介護）

### 1. 重点目標

- 「和みのある場所の提供」を大切にし、一人ひとりに合った「安心・安全・思いやり・温かみ」のあるサービスを考え、また利用したいと思っただけのサービスを提供していく。
- 居宅介護支援事業者（ケアマネージャー）との連携を緊密にして、新規に利用される利用者を定期的に利用してもらえよう創意工夫し、必要な時に利用していただける「海山荘のショートステイ」ということをモットーに、利用率 100%を目指す。

## デイサービス（通所介護、認知症対応型通所介護）

### 1. 重点目標

- 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の実施も含め、利用定員 50 名（一般型 30 名、認知症型 12 名、総合事業 8 名）のデイサービスの利用率は 83%以上（1 日当りの利用者数を 41 名以上）を目標とし、経営基盤強化に寄与する運営を目指す。
- 利用者を安定的に確保することを目標に、デイサービスの PR 情報をホームページ等で発信すると同時に、地域交流イベントにも積極的に参加・企画して実行する。
- 勉強会や研修に積極的に参加して、職員の介護技術や資質向上に努め、利用者・家族・地域から信頼されるデイサービスとなり、利用者の確保に繋げていく。
- 明るく和やかなデイサービスとして、利用者によるおやつ作りや職員の演芸などをはじめ、利用者が心身ともに楽しく過ごせるよう支援するとともに、利用者一人一人に寄り添う介護を行う。

## 訪問介護（ホームヘルプサービス）

### 1. 重点目標

- 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の実施を含め、利用者へ継続的な介護サービスの提供・支援を行い、信頼関係の構築を大切にして事業収入の増加を図る。
- 利用者・家族ならびに居宅介護支援事業所との信頼関係を大切に、事業所内勉強会や外部研修等により職員の知識・技能と資質の向上を図り、誠実かつ質の高い介護サービスの提供を行う。

## 居宅介護支援事業所

### 1. 重点目標

- 利用者・家族の思いや意向を確認した上で「利用者が望むその人らしい生活」の実現性を高め、信頼され喜ばれる介護サービス計画の作成を心がける。
- 地域から信頼される居宅介護支援事業所を目標に、地域の介護サービス事業者や医療関係機関等との連携を密にして利用者への支援活動を行い、さらに質の向上を図るため、積極的にケアマネ連絡会や事例検討会、研修会に参加する。





自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

(単位:円)

科 目	30年度予算額	令和元年度予算額	増減
I 経常活動による収支			
収 入			
1 介護保険収入	580,497,000	604,303,400	23,806,400
介護福祉施設介護料収入	310,000,000	309,460,000	△ 540,000
介護報酬収入	278,500,000	278,400,000	△ 100,000
利用者負担金収入	31,500,000	31,060,000	△ 440,000
居宅介護料収入	127,200,000	148,860,000	21,660,000
介護報酬収入	113,000,000	133,970,000	20,970,000
利用者負担金収入	14,200,000	14,890,000	690,000
居宅介護支援介護料収入	11,263,000	12,817,000	1,554,000
居宅介護支援介護料収入	11,263,000	12,817,000	1,554,000
利用者等利用料収入	132,030,000	133,162,400	1,132,400
施設サービス利用料収入	3,000,000	2,146,000	△ 854,000
居介護サービス利用料収入	330,000	155,000	△ 175,000
食 事 収 入	53,000,000	55,738,000	2,738,000
居 住 費 収 入	74,700,000	73,900,000	△ 800,000
その他利用料収入	1,000,000	1,223,400	223,400
その他の事業収入	4,000	4,000	0
受 託 収 入	4,000	4,000	0
2 借入金利息補助金収入	3,650,000	3,500,000	△ 150,000
3 経常経費寄付金収入	160,000	105,000	△ 55,000
4 経常経費補助金収入	0	110,000	110,000
他 補 助 金 収 入	0	110,000	110,000
5 受取利息配当金収入	50,000	50,000	0
6 その他の収入	1,500,000	1,100,000	△ 400,000
雑 収 入	1,500,000	1,100,000	△ 400,000
7 サービス区分間繰入金収入	17,500,000	0	△ 17,500,000
サービス区分間繰入金収入	17,500,000	0	△ 17,500,000
8 拠点区分間繰入金収入	0	0	0
拠点区分間繰入金収入	0	0	0
経 常 収 入 計	603,357,000	609,168,400	5,811,400



支 出			
1 人件費支出	375,500,000	368,854,000	△ 6,646,000
役員報酬支出	5,500,000	4,800,000	△ 700,000
職員給料支出	244,000,000	240,815,000	△ 3,185,000
非常勤職員給与支出	84,000,000	81,684,000	△ 2,316,000
法定福利費支出	42,000,000	41,555,000	△ 445,000
2 事業費支出	125,630,000	130,007,000	4,765,000
給食費支出	33,700,000	33,312,000	△ 388,000
介護用品費支出	6,200,000	6,408,000	208,000
保健衛生費支出	0	0	0
医療費支出	180,000	0	△ 180,000
被服費支出	0	0	0
教養娯楽費支出	900,000	756,000	△ 144,000
水道光熱費支出	17,100,000	17,556,000	456,000
消耗器具備品費支出	6,000,000	6,660,000	660,000
保険料支出	700,000	795,000	95,000
賃貸料支出	5,200,000	6,500,000	1,300,000
車両費支出	5,100,000	4,800,000	△ 300,000
修繕費支出	4,000,000	2,736,000	△ 1,264,000
会議費支出	0	0	0
委託費支出	46,200,000	50,208,000	4,008,000
租税公課支出	0	0	0
雑支出	350,000	276,000	△ 74,000
3 事務費支出	17,662,500	12,479,000	△ 5,183,500
福利厚生費支出	1,750,000	1,247,000	△ 503,000
旅費交通費支出	60,000	60,000	0
研修研究費支出	770,000	780,000	10,000
事務用品費支出	1,400,000	1,500,000	100,000
水道光熱費支出	0	0	0
燃料費支出	12,500	0	△ 12,500
修繕費支出	0	0	0
通信運搬費支出	1,200,000	1,044,000	△ 156,000
会議費支出	5,000	0	△ 5,000
業務委託費支出	8,500,000	3,504,000	△ 4,996,000
手数料支出	1,800,000	1,536,000	△ 264,000
保険料支出	230,000	228,000	△ 2,000
賃貸料支出	509,000	420,000	△ 89,000
租税公課支出	156,000	204,000	48,000
渉外費支出	500,000	804,000	304,000
諸会費支出	370,000	624,000	254,000
雑支出	400,000	528,000	128,000
4 借入金利息支出	10,800,000	11,800,000	1,000,000
借入金利息支出	10,800,000	11,800,000	1,000,000
5 その他の支出	0	0	0
雑損失	0	0	0
6 サービス区分間繰入金支出	17,500,000	0	17,500,000
サービス区分間繰入金支出	17,500,000	0	17,500,000
経常支出計	547,092,500	523,140,000	△ 23,952,500
経常活動資金収支差額	56,264,500	86,028,400	29,763,900



II 施設整備等による収支			
収 入			
1 施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等補助金収入	0	0	0
設備整備補助金収入	0	0	0
設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0
2 設備資金借入金収入	0	0	0
長期設備資金借入金収入	0	0	0
3 固定資産売却収入	0	0	0
他固定資産売却収入	0	0	0
施設整備等収入計	0	0	0
支 出			
1 施設整備借入金元金償還金支出	50,028,000	50,028,000	0
設備資金借入金償還金支出	50,028,000	50,028,000	0
2 固定資産取得支出	1,010,000	0	0
土地取得支出	0	0	0
建物施設取得支出	550,000	0	△ 550,000
構築物取得支出	460,000	0	△ 460,000
車両運搬具取得支出	0	0	0
他固定資産取得支出	0	0	0
施設整備等支出計	51,038,000	50,028,000	△ 1,010,000
施設整備等資金収支差額	△ 51,038,000	△ 50,028,000	1,010,000
III その他の活動による収支			
収 入			
1 長期運営資金借入金収入	0	0	0
長期運営資金借入金収入	0	0	0
2 その他の活動による収入	0	0	0
その他収入	0	0	0
3 拠点区分間繰入金収入	3,208,049	0	△ 3,208,049
拠点区分間繰入金収入	3,208,049	0	△ 3,208,049
その他活動収入計	3,208,049	0	△ 3,208,049
支 出			
1 借入金元金償還金支出	20,724,000	20,724,000	0
長期運営資金借入金償還支出	20,724,000	20,724,000	0
2 その他支出	9,100,000	9,100,000	0
退職共済預け金支出	9,100,000	9,100,000	0
3 その他特別損失	0	0	0
雑 損 出	0	0	0
4 拠点区分間繰入金支出	3,208,049	0	△ 3,208,049
拠点区分間繰入金支出	3,208,049	0	△ 3,208,049
その他活動支出計	33,032,049	29,824,000	△ 3,208,049
その他活動資金収支差額	△ 29,824,000	△ 29,824,000	0
当期資金収支差額合計	△ 24,597,500	6,176,400	30,773,900
前期末支払資金残高	13,843,799	13,843,799	0
当期末支払資金残高	△ 10,753,701	20,020,199	30,773,900

